

JOY メディカルクリニック 介護医療院おはな

2022 年度 医療法人玉昌会 J0Y メディカルクリニック・介護医療院おはな

《理 念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療・介護サービスを提供します

《基本方針》

1. 患者さま・利用者さまの尊厳や権利を尊重した医療・介護を行います
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます
3. 地域包括ケアシステムの構築に寄与し、全世代に対応した医療・介護・福祉サービスを含めた生活支援サービス提供を目指します
4. 『健康経営宣言』に則り、病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 健診事業や健康増進事業に取り組み、職員や地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます入力してください

《運営方針》

1. 患者さんの医療・介護の質の確保と安全に努めます
2. 慢性腎臓病（CKD）を中心とした腎疾患診療部門の充実を図ります
3. 健診事業による5疾病の未病・予防に取り組みます
4. 『健康経営宣言』に則り、療養・職場環境の改善に努めます
5. 人財の確保および育成に努めます
6. 地域共生社会の実現に取り組みます
7. 地域のニーズにあった病院機能の見直しを行います
8. 将来の病院機能を見据えた病床機能の再編に取り組みます
9. 病院の新築移転に向けての取り組みを進めます

J0Y メディカルクリニック・介護医療院おはなの沿革

2022 年 12 月 J0Y メディカルクリニック開院

介護医療院おはな開院 病床数 60 床

2022 年 12 月 難病の患者に対する医療等に関する法律第 14 条第 1 項の規定による指定医療機関 指定（J0Y メディカルクリニック・介護医療院おはな）

2022 年 12 月 生活保護法に基づく指定医療機関 指定（J0Y メディカルクリニック・介護医療院おはな）

2022 年 12 月 診療・検査医療機関 指定（J0Y メディカルクリニック）

2023 年 1 月 労災保険指定医療機関 指定（J0Y メディカルクリニック）

J0Y メディカルクリニック・介護医療院おはな 2022 年度概要

名 称 医療法人玉昌会 J0Y メディカルクリニック
介護医療院おはな

所 在 地 〒899-5231

鹿児島県始良市加治木町反土 2156 番地 5

TEL (0995) 73-3356 FAX (0995) 62-0120 (J0Y メディカルクリニック)

TEL (0995) 63-8889 FAX (0995) 62-0120 (介護医療院おはな)

【J0Y メディカルクリニック】

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 院長 濱田 浩志

診 療 科 目 内科

社会保険等指定

保険医療機関、健康保険、国民健康保険、生活保護、労災保険、
難病医療等指定医療機関、診療・検査医療機関（新型コロナウイルス）

【介護医療院おはな】

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 院長 濱田 浩志

療 養 室 数 60 室

施設基準

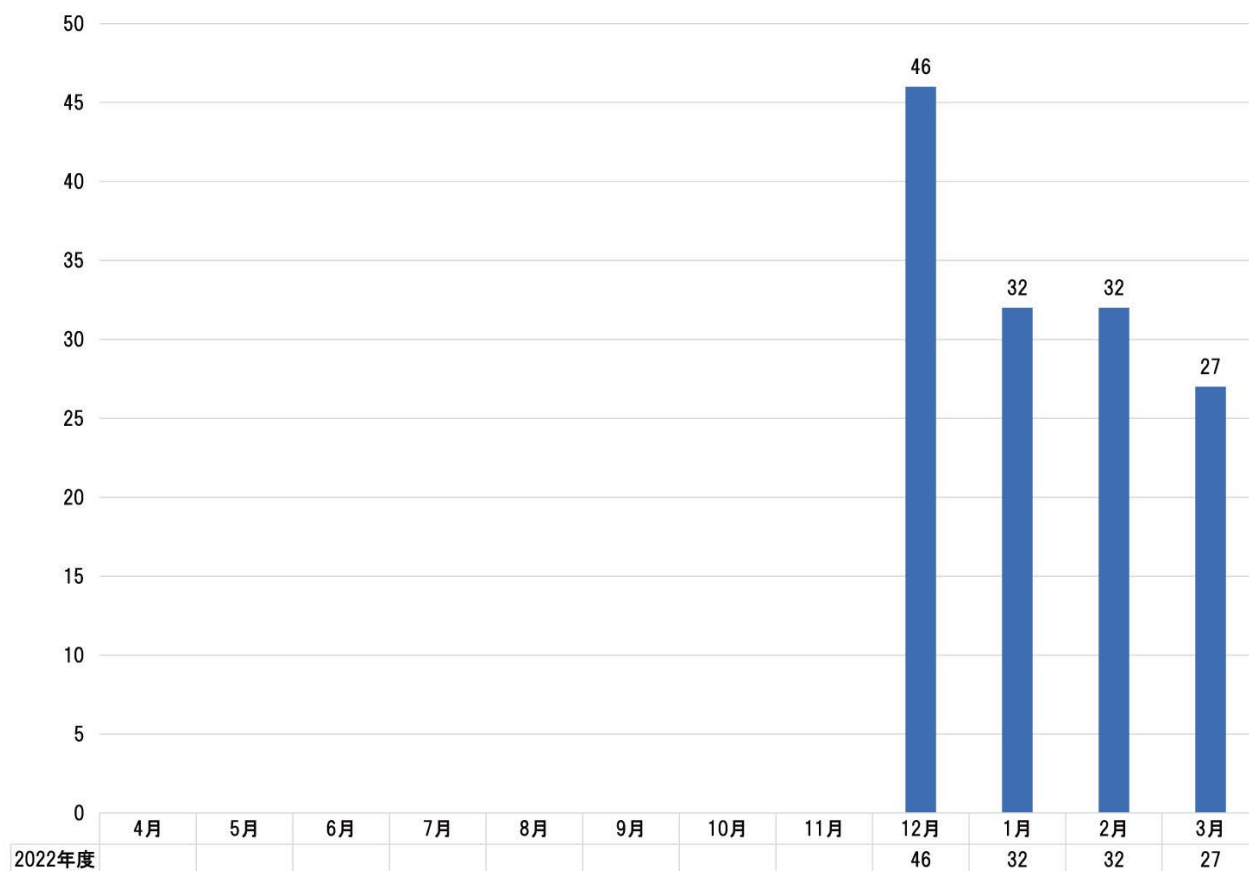
Ⅱ型介護医療院サービス費Ⅱ、夜間勤務条件基準 加算型Ⅳ、
身体拘束廃止取組の有無 基準型、安全管理体制 基準型、
栄養ケア・マネジメントの実施、療養環境基準（廊下） 基準型、
療養環境基準（療養室） 基準型、若年性認知症入所者受入加算、
栄養マネジメント強化体制、療養食加算、集団コミュニケーション療法、
リハビリテーション提供体制 理学療法Ⅰ、作業療法、言語聴覚療法、その他、
排せつ支援加算、自立支援促進加算、科学的介護推進体制加算、
安全対策体制、サービス提供体制強化加算 加算Ⅱ、
介護職員処遇改善加算 加算Ⅰ、LIFE への登録

そ の 他

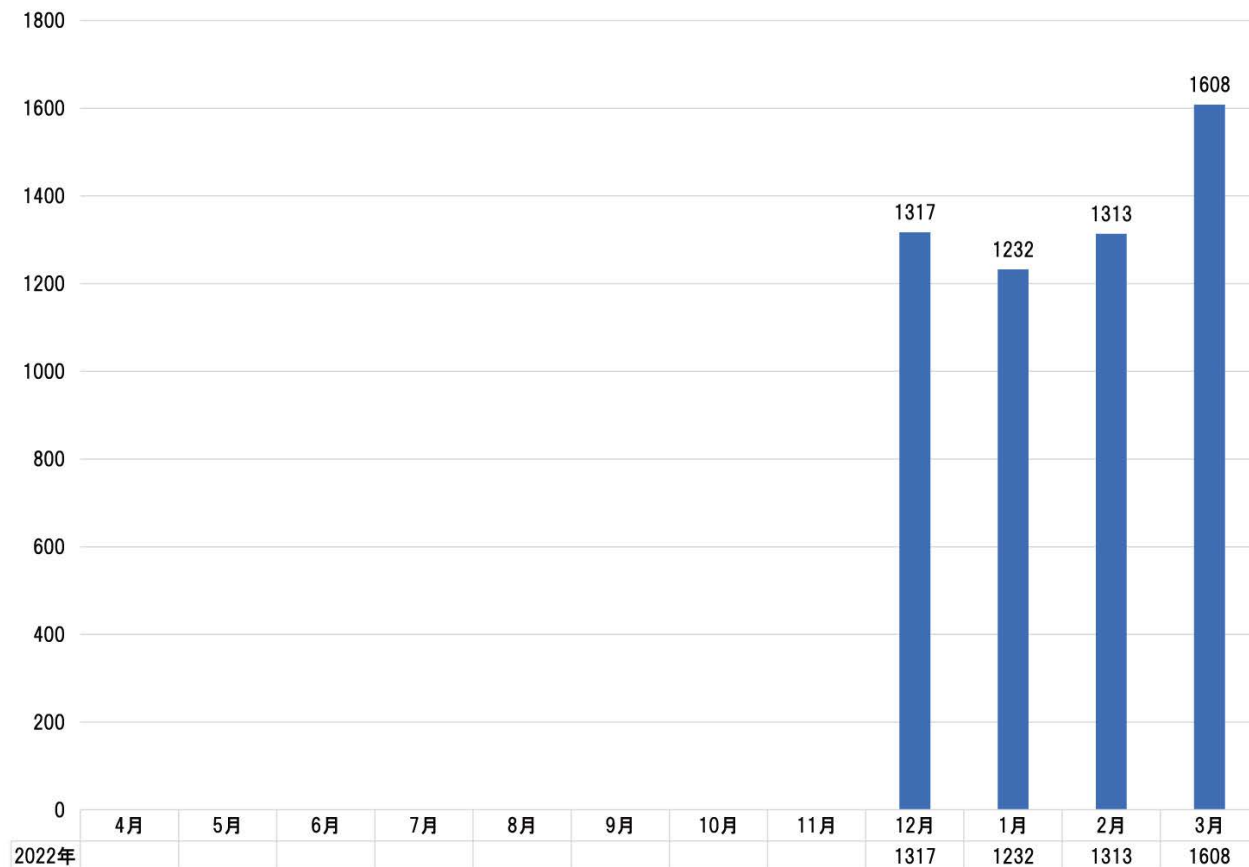
難病医療等指定医療機関、生活保護指定医療機関、不在者投票実施指定

JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな 統計

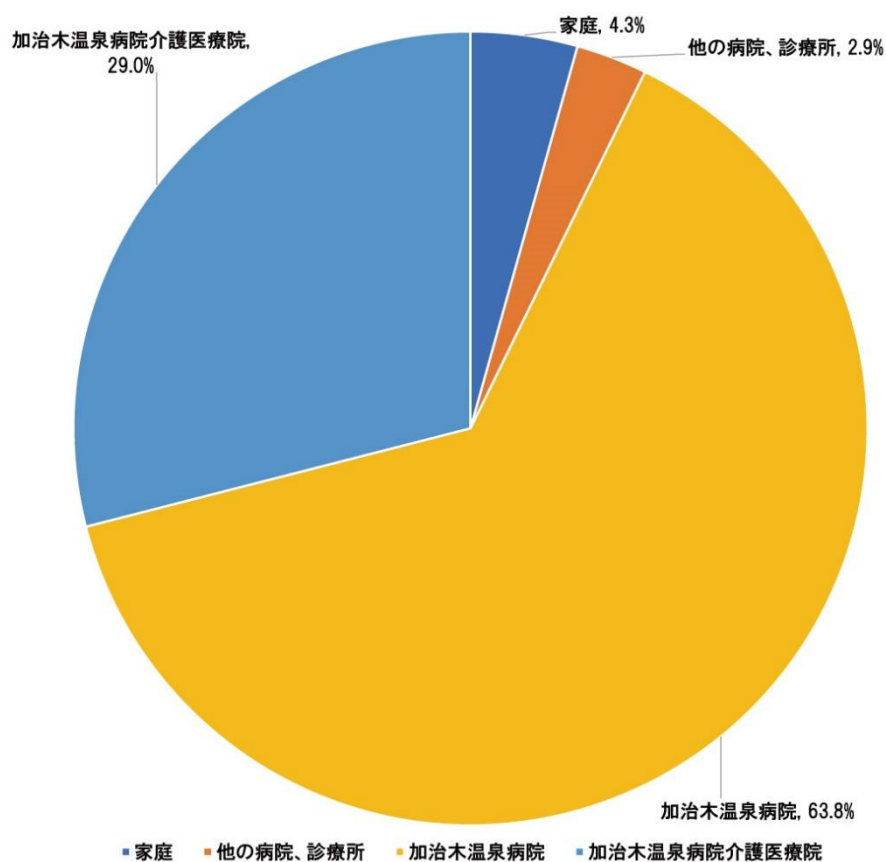
JOY メディカルクリニック 外来患者数推移（人）



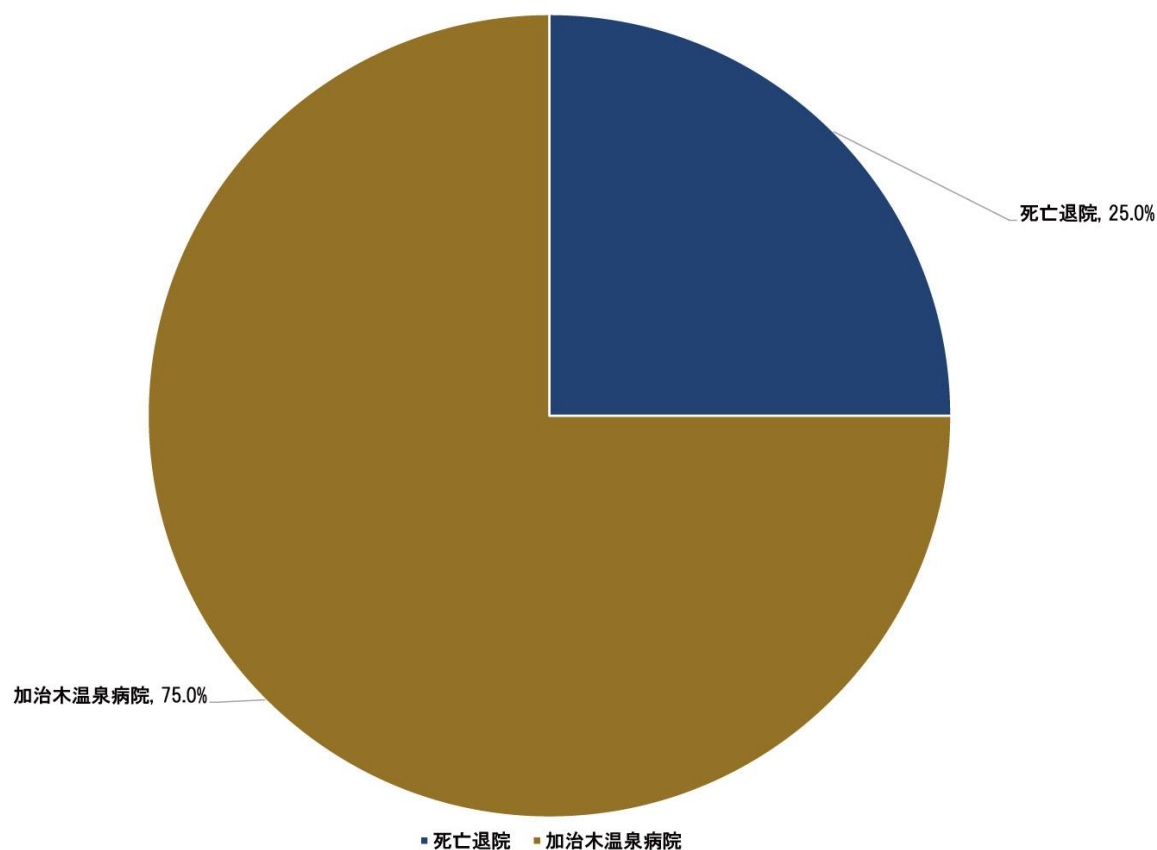
介護医療院おはな 入所者数推移（人）



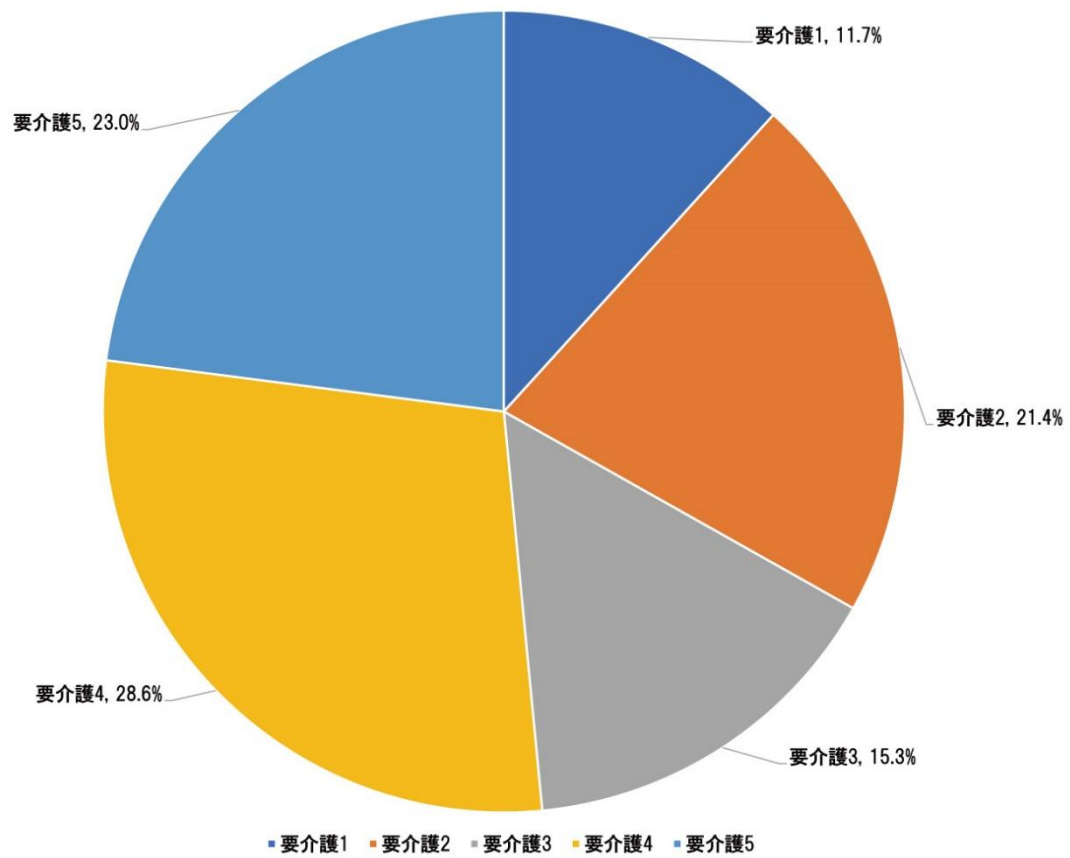
介護医療院おはな 紹介元別件数・割合



介護医療院おはな 逆紹介先別件数・割合



介護医療院おはな 介護度別割合



JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな 部門別活動報告

看護部

【今年度の取り組み】

- A-1. 意思決定支援・ACPへの知識・対応力向上
達成目標：意思決定支援やACPについての知識を深めるための研修会・症例検討会の実施
- B-1. 入院病床稼働率向上
達成目標：稼働率：90%（54床）以上
- C-1. 感染対策の強化・入所者・家族の満足度の向上
達成目標：院内関連感染によるクラスターが発生しない・対面面会（窓越し・直接）実施
- D-1. 専門的知識・技術の向上
達成目標：介護医療院・介護保険・ケアプランについての勉強会を開催する

【今年度を振り返って】

2022 年 12 月に開院。同月に新型コロナクラスター発生に伴い、新規入所者の受け入れが遅れたが、年度末にて 90%（54 床）が達成できた。地域連携室とこまめに連絡を図り、入所希望者への入所前契約を早め、早期入所に結ぶことが出来た。途中で状態悪化により退所した場合に備え待機者リストの情報共有や事前検査、訪問を行い受け入れ態勢を構築できた。

対面面会（窓越し・直接）実施率 90%。県外の方や、家族が拒否されたご家族を除いては面会が実施できた。コロナ禍にて面会が制限されていたが、2 年ぶりに面会が出来たご家族もいらっしゃり、感謝の言葉を頂いた。入所者が面会後は食欲が出てきたり、笑顔が見られるなど、QOL・満足度の向上に繋がった。

栄養室

【今年度の取り組み】

- A-1. 食事満足度の向上
達成目標：ミールラウンドを週 3 回実施する
- B-1. 増収対策、介護報酬における栄養関連の加算を算定し、施設経営に貢献する
達成目標：栄養強化マネジメント加算を 100%算定する
- C-1. チーム医療の一員として、医療の質向上への取り組み
経口移行・維持加算を算定する
- D-1. 院外(Web)研修会への参加や、所属内研修を行い、スキルアップに努める
達成目標：院外(Web)研修会へ 1 回、所属内研修を毎月開催する

【今年度を振り返って】

新規開設に伴う体制作りにも努め、栄養強化マネジメント加算や経口移行・経口維持加算の算定をすることができた。また、ミールラウンドを実施し、満足度向上に繋げることができた。次年度は、算定件数の増加を目指し、また、部署内研修の実施や院外研修会に参加し個々のスキルアップに努めたい。

医事係

【今年度の取り組み】

- A-1. 窓越し面会の実施
達成目標：対面面会（窓越し・直接）実施率 70%以上
- B-1. 増収対策、安定経営への取り組み
達成目標：法人の予定に従い、介護医療院おはな開設に向け届出をし、開設する
- B-2. 増収対策、安定経営への取り組み
達成目標：年度末までに稼働率 90%（54 床）以上を達成する
- C-1. インシデント・アクシデントに対する意識の向上、改善
達成目標：年間 1 人 6 枚以上提出
- D-1. 教育体制の向上
達成目標：学会発表 1 例以上

【今年度を振り返って】

新規開設に伴う各種届出を遅滞なく行うことが出来た。新型コロナウイルスのクラスターが発生してしまい、目標稼働率を達成できなかった。次年度は高稼働率を維持し、増収に向けて様々なアプローチをしていきたい。

介護医療院おはな 各種委員会

2022 年度 委員会・会議 一覧

	委員会名	開催日	目的
診療関係	栄養管理委員会	第2木曜	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施することにより円滑で適性な運営を図る
	口腔衛生管理委員会	第4木曜	口腔に関する現状を討議し、健全に維持するために職員の知識・技術向上を図ることを目的とする
教育関係	看護部教育委員会(合同)	3ヶ月に1回	看護職、介護職の知識・技術の向上と協同を目的とする
	看護部教育委員会(CW)	第1木曜	介護職の知識・技術の向上を目的とする
	虐待防止対策委員会	第3木曜	虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその発生を確実に防止するための対策を検討し、職員に周知徹底を図る
	看護部教育委員会(Ns)	第3木曜	知識・技術の向上、主体性と自主性のある看護職の育成
医療安全対策関係	褥瘡対策委員会	第2木曜	褥瘡を予防することを目的とする
	院内感染対策委員会	第4木曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	看護部記録委員会	第4木曜	看護記録について勉強会や監査を行い記録の充実を図る
	事故防止検討委員会	第3木曜	安全対策・事故防止に対する取り組みを行う
	身体拘束適正化検討委員会	第3木曜	身体的拘束等の適正化のための対策を検討し職員に周知徹底を図る
その他	介護医療院おはな運営会議	第4木曜	良質で安全な医療・介護サービスの提供と、安定的な経営の維持、問題解決を目指し介護医療院の運営方針の決定を行う

在宅サービス事業部

2022 年度 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部

《経営理念》

「いつまでも健やかに・・・

ー私たちの願いです。」

「貴方らしく暮らすために・・・私たちは地域に貢献します。」

《経営目標》

私たち医療法人玉昌会は、

地域の医療・介護及び福祉のシームレスな連携を構築します。

地域の皆様の安心・安全・健康に貢献します。

「活き活き」暮らす環境を提供します。

在宅サービス事業部の概要

名 称 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部
開設者 高田 昌実

◇◇◇ 鹿児島地区 ◇◇◇

訪問介護ヘルパーステーション 甲東 鹿児島市新町 5 番 19 号高田ビル 405	Tel099-219-2670	1998 年 5 月開設
居宅介護支援事業所キラメキ 鹿児島市荒田 1 丁目 16-3 YU FIRST BLDG. 4 階	Tel099-203-0172	1999 年 10 月開設
デイサービス 風の街 鹿児島市堀江町 6-3	Tel099-248-8112	2011 年 5 月開設
看護小規模多機能型居宅介護 星の街 鹿児島市堀江町 6-3	Tel099-248-8136	2011 年 5 月開設
住宅型有料老人ホーム ほりえ 鹿児島市堀江町 6-3	Tel099-248-8111	2011 年 5 月開設
訪問看護ステーション まむ鹿児島 鹿児島市堀江町 6-3	Tel099-248-8450	2012 年 7 月開設
キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗 鹿児島市高麗町 22-16	Tel099-230-7122	2021 年 3 月開設

◇◇◇ 始良地区 ◇◇◇

居宅介護支援事業所 めく杜 始良市加治木町反土 2156-5	Tel0995-62-0106	1999 年 10 月開設
訪問看護ステーション まむ 始良市西餅田 202-3	Tel0995-55-4649	2008 年 3 月開設
デイサービス しあわせ通りらぶ 始良市加治木町反土 2156-5	Tel0995-62-5950	2016 年 4 月開設
グループホーム 木もれ日 始良市加治木町反土 2156-1	Tel0995-62-5915	2009 年 4 月開設
グループホーム 花いちもんめ 始良市加治木町木田 4888-4	Tel0995-62-2983	2016 年 4 月開設
住宅型有料老人ホーム おはな別館 始良市西餅田 202-3	Tel0995-65-2040	2011 年 6 月開設
看護小規模多機能型居宅介護 お福 始良市西餅田 202-3	Tel0995-65-1234	2021 年 10 月開設
看護小規模多機能型居宅介護 とまり木 始良市加治木町反土 2156-1	Tel0995-62-5916	2020 年 10 月開設

在宅サービス事業部 部門別活動報告

住宅型有料老人ホーム おはな別館

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：緊急時において主治医、看護小規模多機能の訪問看護と連携を図ることで下期1月にご入居者様のお看取りをさせていただくことができた。

B-1. おはな別館の健全運営

達成目標：平均入居者率 19.0名 稼働率 95.3% 満床4か月推移することができた。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：事業所ミーティングにてインシデント・アクシデント・事故報告をし、事故発生時には対策を検討、在宅会議にて報告している。しかし、年間報告の集約・分析・職員への報告を未実施である。

C-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：立ち入り検査受信し改善項目（長期収支計画の作成）あり改善を行った。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得 学習意欲の向上

達成目標：4月に研修計画を立案し、重点項目である身体拘束・高齢者虐待・認知症、感染対策を取り入れるも決まった職員のみで参加率は低く未達成である。

【今年度を振り返って】

今年度は、目標平均入居者数19名・目標平均稼働率95%に対し、年間平均入居者数実績19.0名、年間平均稼働率95.3%と、目標は達成することができました。要因としては、おはな本館の転換に際し転居者5名の受け入れを行い満床となるも、同じくおはな本館から職員の配置転換もあったため人件費増となる。

下半期に看護小規模多機能お福と連携し、施設内でのお看取りを1名させていただくことができ、ご利用者様ご家族様の満足度に努めることができました。

新型コロナウイルスのクラスター感染を経験し、ご利用者様やご家族様にはご心配ご迷惑をお掛けした年でした。今後も、引き続き感染症対策を進めてまいります。

住宅型有料老人ホーム ほりえ

【今年度の取り組み】

A-1. ご家族様・ご入居者様の満足度率向上

達成目標：ほりえ全体でのイベント実施。満足度調査による満足度率83%以上

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：予算書に基づく事業運営年、平均値26名

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：リスクマネジメント事例に対して、毎月のカンファレンス実施

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：立入検査を見据え、事業所自己評価を行う

D-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：年間研修計画に基づいた研修参加率65%

【今年度を振り返って】

今年度も年間を通してコロナ禍の一年ではあったが、入居者様へ少しでも満足いただけるよう、イベントの計画、対策、実施を行う事で満足度率の向上に繋がってきている。

入居稼働に関しては、コンスタントに新規入居していただいている状況だが退去率が上回っているため、稼働率としては、前年度を下回る結果となった。

リスクマネジメントに関しては、インシデント報告を在宅事業部全体で共有したことにより、各職員、事例・対策への意識づけに繋げることができた。

法令遵守に関して、立入検査を見据えた自己点検評価を行ったが内容の把握不足により継続して、確認作業を実施していく必要がある。

年間を通して、入居稼働率の向上という目標が未達成となってしまった現状を来年度では達成できるよう対策を検討していきたい。

看護小規模多機能型居宅介護 お福

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上①
達成目標：満足度調査を実施し、調査結果を運営推進会議や利用者ご家族へ公表する。
- A-2. 利用者様の満足度向上②
達成目標：サービスの質の向上や業務改善について検討し、改善事例があれば実施し評価を行う。
- B-1. 既存事業所の健全経営
達成目標：登録平均を 25.8 名。
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：毎月の定例ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車両事故報告を行い、対応策を検討する。また、年間の報告件数を集約・分析し、結果を全事業所に報告する。
- D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供
達成目標：自己点検票にて自己点検（評価）を実施する。
- E-1. 業務に関する基礎知識の習得
達成目標：事業所内で研修計画を作成し、研修テーマや講師担当などを取り決め実施する。

【今年度を振り返って】

今年度は、目標登録平均者数 25.8 名に対し、年間登録平均者数実績 21.5 名と目標値を 4.3 名下回る結果でした。次年度も、医療機関や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなど周囲の関連事業所との連携を図り、迅速な対応に努めたいと思います。

また、利用者様が住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることが出来るよう地域内でサポートし合いながら、本人らしい暮らしの実現に向けて支援していきます。

看護小規模多機能型居宅介護 とまり木

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：年間計画に基づく満足度調査の実施、集計、集計結果公表。
業務改善事例があれば、実施し評価を行う。
- B-1. 既存事業所の健全運営
達成目標：登録実稼働平均 25.7 名、継続した各種加算の取得。
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：毎月のミーティングでインシデント・アクシデント報告、事故報告、車両事故報告、検討会を実施する（毎月）。
毎月の在宅介護で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に報告する。
- D-1. 法令順守に基づくサービスの提供
達成目標：事業所で自己点検表にて評価を行い年度内にて事業所で実施報告を行う。
- E-1. 業務に関する基礎知識の習得
達成目標：事業所内で研修計画を作成し実施する。研修内容やテーマ、講師担当を決め実施する。事業所内ミーティング等で勉強会の実施。重点項目として身体拘束、高齢者虐待、認知症、医療に関して研修を行う。

【今年度を振り返って】

今年度より看護小規模多機能型居宅介護での短期利用（ショートステイ）の受け入れを行い、居宅変更せず一定の期間ショートステイを利用者様に提供することができた。コロナ渦で入院中の利用者様がご逝去されたり在宅復帰が難しい利用者様等が重なり、稼働率を大きく下回る結果となった。

医療度の高い方や独居で支援の必要な方の受け入れを行い、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが継続できるように地域包括ケアシステムの構築を図っていききたいと思います。

在宅サービス事業部 部門別活動報告

看護小規模多機能型居宅介護 星の街

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：満足度調査、集計実施
- B-1. 健全経営
達成目標：稼働実績 24 名の達成。
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：利用者様の安全への取り組みの実践
- D-1. 業務に関する基礎知識の習得、個々のスキルアップ 知識の向上
達成目標：外部研修へ研修参加を促し伝達講習の実施。

【今年度を振り返って】

経営面は、平均稼働人数達成、介護度の高い利用者の受け入れから、経営面では目標の稼働実績 24 名に至らなかった。経管栄養、導尿、看取り等の医療必要度の高い利用者を受け入れ、事業所としてケアの質の向上を図った。リスクマネジメントの強化として急変対応の周知徹底を図り、業務改革やフィードバックによる意見交換、事業所内の統一性とした。外部研修では、認定看護師教育課程や介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修、専門分野における研修などスキルアップへの取り組みがあった。次年度は、引き続き、事業所の質の向上に努めると共に、より利用者様の安心安全にむけた様々な取り組みから安定した稼働が維持できるように取り組む。

キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：満足度調査の実施、集計、集計結果の公表
- B-1. 健全経営
達成目標：2022 年度年間年間稼働目標 20 名の達成
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：ノーリフト、腰痛予防の研修実施。新型コロナウイルス対策の徹底（継続的な研修、感染症対策訓練の実施）
- D-1. 業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上
達成目標：院内勉強会の動画視聴、鹿児島地区在宅サービス事業部勉強会の参加率 80%、事業所内勉強会の継続

【今年度を振り返って】

経営面は、平均稼働人数未達成。介護度の高い利用者かつ医療必要度の高い利用者の受け入れは行えたが目標を下回る結果となった。医療ニーズの高い利用者として在宅腹膜透析、血液透析、在宅酸素療法等の支援を行い事業所の質向上を図った。リスクマネジメントの強化として腰痛予防に取り組んだ。床走行式のリフトや移乗ボードを使用し従業員、利用者ともに安心したケアが行える環境と整えた。新型コロナ対応ではコロナ対応の指針を基に地域の感染状況やワクチン接種状況に応じた対応を行い感染症対策を行った。外部研修は喀痰吸引等研修指導者講習や諸規模多機能連絡会をオンライン中心で受講した。次年度は、引き続き、事業所の質向上に努めると共に、安定した稼働が維持できるように取り組む。

グループホーム 木もれ日

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：管理者会議にて、イベントや食事、接遇について議題を設け話し合う
話し合いの内容について改善案を抽出し、実施した内容等をしっかりと記載、満足度評価を行う
- B-1. 既存事業所の健全経営
達成目標：稼働率 95%、1 日平均 8.5 名以上
退所時にスムーズな入所に繋がるよう、待機者の確保に努める
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：事業所ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車輛事故報告・検討会を

毎月実施する

毎月の在宅会議で件数と事例を報告する

年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に報告する

C-2. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標：内部監査計画に沿って、内部監査の実施。

D-1. 地域ケアシステムの構築、地域共生社会の実現・学習意欲の向上

達成目標：各事業所毎のBCPの作成を行い、各地域の防災訓練や地域住民と介護予防に取り組む

年間計画に沿った研修会の実施とオンラインを含む外部研修への参加

【今年度を振り返って】

目標稼働率 95%・1 日平均 8.5 名以上という今年度の目標に対し、年間を通して平均稼働率 89.3%・1 日平均 8 名と、目標値を大きく下回る結果となってしまいました。

新型コロナウイルス感染症への感染や体調不良等による入院が数件ありましたが、広報活動が不十分であったこと、また、空床時の医療機関や居宅介護支援事業所との連携がスムーズに図れていなかったことが要因であると痛感しております。待機者確保のためにも、医療機関や居宅介護支援事業所など周囲の関連事業所との連携を図り、迅速な対応に努めたいと思います。

また、今後は感染対策を行いながら地域行事にも積極的に参加し、木もれ日を知っていただく機会を大切に、ご家族やご友人・地域の方が参加しやすい行事や来所しやすい事業所を目指していきます。

グループホーム 花いちもんめ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：毎月、管理者会議でイベント「食事、接遇について議題を設け話し合うようにしていく。

話し合いの内容について、改善案を抽出し、実施した内容等をしっかりと記載。満足度評価を行う。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：稼働率 95.0%、一日平均 8.5 名以上利用

予算書に基づく事業運営を行う

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：毎月インシデント・アクシデント報告・事故報告・車輛事故報告会を実施する。

年間報告件数を集約・分析し管理者会議で報告する。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：内部監査計画に沿って、内部監査の実施。（評価表に事業所名と監査日を記入する）

E-1. 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現

学習意欲の向上

達成目標：事業所にて BCP の作成を行い、各地域の防災訓練や地域住民と介護予防に取り組む。

年間計画に沿った研修会の実施とオンラインを含む外部研修への参加。

【今年度を振り返って】

利用者様の満足度向上に関して、管理者会議への報告資料をまとめ提出・報告。ミーティングにて管理者からの情報提供を議事録に残し、職員へ再周知を行った。また令和 4 年度の満足度調査を実施、結果をご家族様と職員へ報告した。既存事業所の健全経営に関して、稼働率 91.88%、平均介護度 3.77、平均利用数 8.26 人、入所に関しての相談や見学があっても申し込みまでは至らず新規利用者様の獲得に長期間要した。結果、年間を通して空床が多く、目標稼働を達成できなかった、また広報活動も出来ていない状況にある。リスクマネジメントの強化に関して、事故報告書 0 件、日頃より事故の防止・リスクの軽減に努めているが、インシデント・アクシデント・事故・車両事故の報告会や分析・集計までが出来ていなかった。法令遵守に基づくサービスの提供に関して、今年度の自己点検票で点検を実施。外部評価の免除申請を行い、行政からの決定通達を確認した。地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現と学習意欲の向上に関して、事業所での BCP の準備・作成ができておらず、また地域住民との防災訓練への取り組みもできていなかった。年間計画に沿った研修会は事業所や在宅サービス事業部で行っているが、外部研修は参加できてなかった。現在、花いちもんめでは入居者様の平均年齢が高く、寝たきりや車椅子介助者が半数を超えて重度化していますが、最高齢 100 歳を越える方もおられ、温かみのある家庭的な住環境で家族と職員が

在宅サービス事業部 部門別活動報告

利用者様に寄り添い、穏やかな本人らしい暮らしの実現に向けて、日々協力関係を築きながら共同生活が送れるよう支援していきます。また今年度は、グループホーム木もれ日とサテライト事業所に変更もあり、今後、2つの事業所が協力し合い、より一層、利用者様や地域に満足していただける運営を目指していきます。

デイサービス しあわせ通り らぶ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様への対応改善

達成目標：満足度調査の集計結果公表。

業務改善事例があれば、実施し評価を行う。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：延べ回数平均 526 名。1 日利用平均 20.2 名。

※介護医療院おはな開設に伴う休止期間含む

C-1. インシデント・車両事故報告の削減

達成目標：ミーティングにてインシデント・アクシデント報告・事故報告・車両事故報告・検討会を実施する（毎月）。毎月の在宅会議で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に報告する。

C-2. 法令遵守体制を整える

達成目標：自己点検を実施し、改善を行う。

D-1. 院内・院外研修への参加率の向上

達成目標：年間研修計画に基づく勉強会の実施。

【今年度を振り返って】

年間を通じて利用回数目標に対して延べ回数実績が、平均 467 名（目標比 89%）・1 日平均 17.8 名の実績にて目標は未達成となりました。今年度は介護医療院おはな開設の為、2 カ月間の事業休止や、新型コロナウイルスの影響による事業所の休止と、事業所運営が厳しい状況ではありましたが、地域へ根付いたデイサービスとして総合事業対象者の受け入れを継続的に実施し、重度介護が必要な方々の受け入れも継続しています。又、看護師の配置・リハビリ職種配置を継続して行い、機能訓練や医療ニーズが高い利用者の受け入れも行っておりました。

今後も共生社会の中で地域の一翼を担える様に、事業所の自己研鑽の機会を作る事や、定期的な事業所のミーティングでの研修を行い、スタッフの接遇面や技術的な要素を含め、サービスの質の向上に努めて参りたいと思います。又、特色ある事業所作りを念頭に置き、感染対策を十分に行いながら機能訓練・脳トレーニング・レクリエーションの充実を図って参ります。

デイサービス 風の街

【今年度の取り組み】

A-1. ご利用者様の満足度向上

達成目標：感染状況を考慮した催し物の開催。満足度評価を年に 1 回実施する。

B-1. 既存事業所の健全運営

達成目標：1 日平均利用者数 15 名。

B-2. 新規利用者の獲得

達成目標：外部居宅訪問・広報にて毎月 1 名以上の新規利用者を獲得する。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント・アクシデント報告を最小限に努め、再発防止に努める。

D-1. 学習意欲の向上

達成目標：勉強会参加率 70%。

【今年度を振り返って】

令和 4 年度は 8 月、12 月に新型コロナウイルスの陽性者のご利用者様、職員で発生し感染症を考慮した事業所運営に努めてまいりました。その中でも感染対策を行いながら、利用者様に楽しんで頂けることを第一に考え、毎月季節に合わせた催し物を開催することができました。特に 4 月に行ったお花見では、新型コロナウイルスにより外出を自粛されていた利用者様も数多くいたため、喜びの声を多く聞くことができました。また、令和 5 年 2 月に満足度調査を実施し満足度 87%の結果となり、今後も利用者様に満足して頂ける事業所運営に努めてまいりたいと思います。

ます。

令和5年1月から作業療法士が新たに1名入職し、計3名での専門職によるリハビリを提供できる体制となりました。そこで、広報誌を新たに作成し、事業所で行っているリハビリの詳細や評価について外部居宅へ広報活動を行う事で事業所への相談、体験の件数が合わせて毎月5件程頂けるようになり新規利用者様の受け入れも順調に増加しております。

リスクマネジメントに関しては、発生したインシデント・アクシデントを元に職員間で話し合いの機会を設け再発防止に努める事ができました。

事業所内での勉強会としては、接遇やレクレーション、タクティールケア、移乗等の勉強会を実施した他、動画視聴での勉強会も実施することができ、日々の業務へアウトプットしながら職員の技術の向上を今後も目指していきたいと思います。

訪問看護ステーション まむ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：コロナ感染対策を実施し、陽性者の早急な対応を行った。電話対応やスタッフの急な欠員により利用者及び関係機関より苦情があった。

満足度調査の結果：回収率 73.3% 全ての項目によって高評価であった。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：訪問延べ回数 280 回 医療 106 回／介護 174 回。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント 3 件、アクシデント 0 件。

C-2. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標：自己評価の考察までには至らなかった。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得・学習意欲の向上

達成目標：施設スタッフと共に防災訓練へ参加することができた。研修計画に沿ってオンライン学習も含め参加率が向上した。

【今年度を振り返って】

今年度は8月に事業所移転、11月には実施指導がありマニュアルなども含め必要書類の見直しをおこなった。スタッフの退職に伴い人員の減少やコロナ感染等による稼働率の低下もあった。しかし、新たな人員を確保する事で今まで関わりのなかった医療機関からの依頼や加治木温泉病院から発達障害児の訪問リハビリへの移行による導入で、医療保険での稼働が上がった。介護・医療での看取りを含めた依頼もあり、稼働は少しずつ上昇傾向となっている。

訪問看護ステーション まむ鹿児島

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度の把握と向上

達成目標：1回／年、満足度調査の実施、集計、結果公表。アンケートの結果を反映した業務改善案の設定。

B-1. 訪問看護利用者数の向上、稼働率の維持向上

達成目標：訪問延回数上半期 9 月 306 回、下半期 3 月 295 回。

C-1. 報告の徹底

達成目標：インシデント報告の情報共有と改善に向けた対策。

D-1. 勉強会及び、カンファレンスの実施、質の向上

達成目標：部署内勉強会の項目に、事例検討会を追加して行う。個人研修計画書の作成、研修参加後のフィードバック。

【今年度を振り返って】

本年度は、外部利用者の獲得、退院直後の医療介入、新規受け入れ、ご自宅でのお看取り等、医療訪問件数は増加したが目標達成には至らなかった。新年度は、日々の業務改善を行い、業務の分担と効率化、スケジュールの見直し、外部利用者獲得の為に定期的な広報活動を実施してゆく。また、突発的な依頼へのスムーズな対応、緊急時の対応、在宅での看取り、腹膜透析の利用者様等への対応、小児訪問看護への受け入れ態勢を整え、より幅広いニ-

在宅サービス事業部 部門別活動報告

ズに応えられるように、各個人の研修計画に沿った研修参加とフィードバックを行い、事業所全体のスキル向上に向けた取り組みを継続、知識技術を高めていく。

また、ストレスのない働きやすい職場環境を念頭に置き、スタッフの安定した定着を図れるよう努めてゆきたい。今後も心を込めた看護を提供し、選ばれるステーションとなるよう、スタッフ全員協力体制で取り組み、ご利用者様、ご家族様がより安心して在宅での生活が送れるように、寄り添ってゆきたいと考える。

訪問介護ヘルパーステーション 甲東

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：接遇・ケア・環境整備等による苦情（苦情相談2件以下）。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：訪問介護1日訪問件数12件及び医療との連携構築の為、入院患者への介護保険外サービス（自費支援サービス）の提供

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：定例ミーティングにおいて、インシデント・アクシデント報告会を実施。原因、対策の分析、周知徹底を行い、再発防止に努める。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：運営指導に基づく内部監査計画書の作成、実施。

D-2. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：定例ミーティングにおける勉強会の実施。

担当制を行う事で、認知症ケア、感染症、BCP等についての知識向上、専門性を養う。

【今年度を振り返って】

スタッフが有料老人ホームと兼務している為、ヘルパー業務としての活動が滞っているのが現状。今後は、有料老人ホーム入居者、キラメキテラスヘルスケアホスピタル入院患者及び外部利用者に対し、介護保険サービスを視野に入れ、感染症に配慮した保険外サービスの提供、ヘルパーとして活動の幅を広げていく事を目標。ケアや業務の中には、リスクマネジメント強化への取り組みを行い、利用者一人一人の危険予知に対する積極的意見を踏まえ、遂行することが出来た。又、新型コロナウイルス発生において、キラメキテラスヘルスケアホスピタルの協力を頂き感染予防、感染発生時のPPE等指導にて、対応スキルを学ぶ。個々のスキルアップ向上としては、スタッフ1名認知症介護実践者研修修了。認知症知識スキル向上の為、勉強会を実施して頂く。他スタッフに関しても、各項目に関する勉強会に対し担当制を実施。今後も専門性に対しての意識づけ、取り組みを継続し、ケアへとつなげていく。

居宅介護支援事業所 めく杜

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：満足度調査を8月までに実施し10月までに公表。BCPへの取り組み実施。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：介護81.5件、予防11件。集中減算にならないように取り組む。

特定事業所加算（Ⅱ）の算定が継続できる。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント、アクシデント報告、検討会実施。在宅会議での件数と事例報告。年間の報告件数を集約・分析し職員へ報告。

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：運営指導に向けて整理、自己点検での評価、考察

D-1. 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現、学習意欲の向上

達成目標：研修計画に基づき研修参加率80%、職員間の理解度80%。感染症と災害訓練の実施。外部研修（リモート研修含む）への参加

【今年度を振り返って】

今年度も新型コロナウイルス感染防止対策として、様々な制限があり、十分な支援ができない状態であった。介護

支援専門員としても居宅訪問やサービス担当者会議などが直接できず、書面やリモートでの開催だった。また、コロナ関連で、代替サービスを強いられ、苦慮した。そのような中で、感染症についての取り組みについて研究し発表することで今後の課題が明確化された。

延期されていた運営指導が実施されたが、事前準備を的確に行い、大きな指摘事項はなかった。

しかし、職員の退職に伴い、特定事業所加算Ⅱが算定できず、大きな損失となった。早急に取得できる加算取得に向けて取り組んで行く必要がある。

今後の課題として、来年度のトリプル改定に向けての準備を進めていく。同時に介護支援専門員としての質の向上も図っていききたい。また、来年度、義務化される、BCP 策定への取り組みを進めていきたい。

居宅介護支援事業所 キラメキ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様に信頼されるケアマネジャー

達成目標：利用者様からの不満による担当変更、事業所離れを未然に防ぐ。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：ケアマネ一人ひとりが、利用者数と財務状況に意識を持ち、1 ケアマネあたり（新人以外）実績請求 28 件／月を維持する。ケアマネの受け持ち数が正常に戻れば（30 件以内）新規受け入れをさ
いかい、実績を作り特定事業所加算Ⅱ or Ⅲ再申請の検討（居宅介護支援費 27 万～33 万増予定）

C-1. ケアマネジメントプロセスの遵守

達成目標：受け持ち研修が 30 件前後に落ち着けば、週 1 回居宅会議再開し実績を作り、特定事業所加算申請を検討。

D-1. 業務に関する知識・最新情報の取得

達成目標：更新研修や主任ケアマネ更新前研修が受講できるよう、通常のケアマネジメント業務が回るようにする。

【今年度を振り返って】

2021 年 11 月にケアマネ 2 名、引継ぎもしないまま退職し、管理者や他のケアマネが必死になって残された利用者の調整に奔走した。残されたケアマネ数では 40 件未満が維持できず減算、特定事業所加算の算定が出来なくなるなど悪循環も解消できず、2022 年に持ち越された。

2022 年度もケアマネがなかなか入職せず、利用者数を減らして通常運営、減算を解消し、特定事業所加算Ⅲ再算定に考えをシフトし、収支バランスを整えた。

ケアマネジャーがモチベーションを取り戻しケアマネジメント業務に専念できるよう、介護保険や鹿児島地区の状況に合わせて持続可能な業務遂行ができるようになればと願います。

在宅サービス事業部内研修

在宅サービス事業部内各事業所において、独自の取り組みや研究を行っており、年に一度、両地区にて研究発表会を開催しています。

【第10回始良地区研究発表会】

○実施日：2022年12月9日（金）

○会場：介護医療院おはな 1階作業療法室

《演題》

- ① 「A事業所における問題解決へのアプローチの方法～看取り期看護・介護を通して～」
ケアレジデンスとまり木 中野 拓也
- ② 「リハビリに特化した看多機を目指して」
ケアレジデンスお福 川畑 美久
- ③ 「新型コロナウイルス感染拡大時の介護支援専門員としての対応の一考察」
居宅介護支援事業所ぬく杜 恒吉 小夜子
- ④ 「介護技術の統一化～サービスの質の向上を目指して～」
いこいの里 花いちもんめ 後藤 とよ子

【第9回鹿兒島地区研究発表会】

○実施日：2023年2月10日（金）

○開催場所：ケアレジデンスほりえ1階風の街

《演題》

- ① 職員の腰痛把握と腰痛予防体操
～職員が安全に介護業務を行うことについて～
ケアレジデンス風の街 新原 亜紀子
- ② 入居者への排泄行為の声掛けと見守り
～入居者様の不安解消への取り組み～
ヘルパーステーション甲東 新村 さとみ
- ③ キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護麗職員によるリハビリ
キラメキテラス麗 田實 玲子

在宅サービス事業部勉強会

事業部内の勉強会も月1回のペースで開催。今期は以下のテーマで開催しました。

○主 催：在宅サービス事業部教育委員会

○実施日：毎月1回、定例的に実施

○対 象：在宅サービス事業部の職員

※新型コロナウイルス感染症により感染状況により実施判断

【鹿児島地区】

開催月	テーマ
4月	コミュニケーション力
5月	感染対策
6月	標準予防策（感染）
7月	災害シミュレーション（BCP）
8月	医療安全
9月	個人情報、守秘義務
10月	認知症研修
11月	転倒予防
12月	倫理について
1月	ハラスメント
2月	在宅研究発表
3月	身体拘束、虐待防止について

【始良地区】

開催月	テーマ
4月	研究発表への取り組み方について
5月	法令順守について
6月	夏場の衛生管理（食中毒予防）について
7月	緊急時の対応（胸骨圧迫法、AEDの使用方法について）
8月	新型コロナウイルス感染拡大により中止
9月	新型コロナウイルス感染拡大により中止
10月	新型コロナウイルス感染拡大により中止
11月	感染対策について
12月	在宅研究発表、介護人としての倫理（高齢者虐待、身体拘束等）
1月	災害対策（BCP）
2月	リスクマネジメントについて
3月	ハラスメントのない働きやすい職場作り